

平成30年度
たかしま市民協働交流センター協議会
事業報告書

平成31年3月31日

高島市今津町中沼 一丁目4-1
たかしま市民協働交流センター協議会

目次

I 運営委員会・総会など

II たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

- (1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行
- (2) 市民活動団体情報の集積

2. WEB 情報発信事業

3. 相談支援事業

- (1) 相談件数
- (2) コピー・大判プリント等対応記録

4. 市民協働交流事業

- (1) たかしま市民活動フェスタ2018
- (2) 交流会

5. 研修事業

- (1) 実務講座開催
 - ① 自分たちだけで解決できないことを協働で取り組むための市民協働講座
 - ② 活動の思いを伝えるパンフ・通信づくり講座
 - ③ 市民活動のための資金の集め方講座

6. まちづくり推進事業

7. その他

- (1) 研修参加記録
- (2) 外部委員会等参加記録

8. 生活支援コーディネーター

9. たかしまの森へ行こう！プロジェクト

]

III 今津東コミュニティセンター

1. 施設利用状況

2. ロビー展示他

3. 自主事業

I. 運営委員会・総会など

会員数

正会員39名、賛助会員11名（団体、個人）（平成31年3月末）

第1回 4月10日（火）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室2
出席者9名、欠席者3名

総会 5月13日（日）10:00～11:30
今津東コミュニティセンター ホール
出席者26名、欠席者13名

第2回運営委員会 11:40～12:00
出席者6名、欠席者6名
・運営委員長、副運営委員長の選任

講演会 13:30～14:45

「まちづくりは楽しく、愉快地!」

地域の課題は地域で解決する-元気な高齢者が支える大野木長寿村の秘訣-
講師：清水清市さん（一般社団法人大野木長寿村まちづくり会 代表理事）
参加者28名

参加者の声

- ・限界集落におちいる前に、極めて積極的に村の改造をされたこと、素晴らしい。
- ・社会の課題を前向きに明るく解決され、工夫もあり、何より元気をいただけた。
- ・高齢者が高齢者を支援するという、大きな共助の形は参考になる。
- ・自分もこれからの地域づくりについて、活動を展開できるヒントがたくさん得られました。 など

第3回 7月23日（月）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室1
出席者9名、欠席者2名
・臨時議案：市民協働交流事業の整理・統合について

第4回 8月6日（月）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室3
出席者8名、欠席者3名
・市民協働課との協議結果について
・NPO 法人化について

第5回 9月28日（金）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室3
出席者7名、欠席者4名
・9月3日のこれから検討会報告
・NPO 法人化スケジュールについて

第6回 11月19日（月）19:30～21:30
今津東コミュニティセンター 会議室2



出席者8名、欠席者3名

- ・次年度事業に関する市民協働課との相談報告
- ・NPO 法人設立に向けて、理事について

第7回 12月17日(月) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者6名、欠席者5名

- ・今津東コミュニティセンターの今後について
- ・NPO 法人の理事について

第8回 平成31年2月1日(金) 18:00~19:15

旅館喜楽

出席者7名、欠席者5名

- ・市民協働課との次年度事業相談報告
- ・NPO 法人理事について

新年会 19:30~21:30 参加者14名

第9回 3月8日(金) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者9名、欠席者2名

- ・NPO 法人理事、スケジュールについて
- ・NPO 法人の名称について

第10回 3月18日(月) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室3

出席者6名、欠席者5名

- ・NPO 法人設立スケジュールについて
- ・NPO 法人の目的、事業、名称について

NPO 法人化にむけて「これから検討会」

1回目 9月3日(月) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室3

参加者14名(会員、市民)

- ・市民協働交流センターのこれまで
- ・ウィッシュポエムづくり

10年後の高島市における中間支援センターの役割を考える。

2回目 10月22日(月) 19:30~21:30

今津東コミュニティセンター 会議室3

参加者10名(会員、市民)

- ・1回目これから検討会のウィッシュを実現するための事業を出していく



ウィッシュポエム

お題：中間支援センターとして10年後の高島市でどのような役割を担っていたいか

グループ1

「たかしまカラーコーディネーター」

なんとかしよう自治会

人材団体 BANK

居場所・交流

助け合い！

高島の宝

グループ2

「いつでも、どこでも、誰でも、気軽に相談できる、

たよれるセンターになったらいいね」

コミセンが市民や市民活動団体等の拠点となること、

認知されること、必要とされること

たかしま中の「あったらいいね」が集まるセンター

だったらいいのにな（情報収集・発信）

市民・企業・行政・様々な人々が「協働」をスタートできる

センターだったらいいね（協働推進）

市民全員が市民活動（我がことという意識）

持続可能な仕組みを構築すること

市民が行政に提言できる。市民と行政が対等に話し合える

世代を問わず、まちづくりに活躍でき、意見が反映できる

ウィッシュポエムを実現するための事業

○市民図鑑事業

高島市の宝は「人」。

歴史を知る人、名所を知る人、自然を守る人、市民活動をしている人、まちづくりをする人、地域をよくする事業をしている人などジャンルを分けて、さまざまな人の情報を集めて、発信する事業

○地域ビジネスきっかけ事業

ビジネスのきっかけになるような出会いができる場づくり

○社会や暮らしが良くなる活動応援事業

社会が良くなる暮らしが豊かになる、そんな活動やビジネスを応援できる事業

○子どもも若者も、実現したいことを話し、企画できる会員制度

Ⅱ. たかしま市民協働交流センター

1. 情報発信集積事業

(1) 情報誌「おむすび・たかしま」の発行

<目的>

市内の市民活動団体や地域貢献に意識の高い事業者や企業取材し、市民に向けて情報提供することにより、市民の市民活動への意識を高め、活動団体や企業がつながることを目的に作成した。市民活動質問箱では、当センターの相談事例を紹介することで、市民活動やボランティアグループの運営サポートをめざした。表紙とインフォメーションは当センターの事業を掲載し、活動への理解を広めることを目的とした。

配布は、全戸配布だけでなく、市内の協力店舗や観光施設にも配布し、多くの市民の目に触れることをめざした。

<成果>

取材した団体から「団体の励みになった」「活動を周囲に紹介しやすくなった」という声が届いた。また、表紙で紹介している当センターの事業紹介に対して、メディアからの取材があった。42号は全戸配布ができないため、配布先を工夫し、市内の協力店や保育園・子ども園などに配布することができ、配布先の拡大ができた。

40号・41号

発行部数：18,000部（全戸配布協力あり、一部手配り配送）

配布先：市内全戸、全公民館、図書館、ホール、高島市内滋賀銀行および関西アーバン銀行、市内郵便局、市内小中学校、市内設置協力施設および企業・店舗、県内各市民活動支援センター

42号

発行部数：7,000部（全戸配布協力なし、手配り配送）

配布先：全公民館、図書館、ホール、高島市内滋賀銀行および関西アーバン銀行、市内郵便局、市内小中学校、市内幼保育園（公立および私立）、県内各市民活動支援センター、市内設置協力施設および企業・店舗

◆40号 7月1日発行

1. 表紙：「まちづくりは楽しく、愉快地！」

元気な高齢者が支える大野木長寿村の秘訣

2. 市内活動団体紹介<2団体>（いろいろやっています！in高島）：

・湖西高島「命の第九」を歌う会 ・岡里山元気会

3. NPO市民活動 質問箱：高島市協働提案事業の申請対象となる事業について

4. たかしまの元気！企業：中村水産

5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）：

・東コミセン 1階展示のお知らせ、後期展示希望者の募集

・市民協働講座「市民、自治会、行政、元気なまちをみんなで作る」開催告知

・たかしま市民活動フェスタ2018参加団体募集

6. 企業広告：社会福祉法人虹の会、マキノピックランド

◆41号 10月1日発行

1. 表紙：たかしま市民活動フェスタ2018開催告知、つながりカフェ開催報告
2. 市内活動団体紹介<2団体> (いろいろやっています！in 高島)：
 - ・大溝の水辺景観まちづくり協議会 ・仲間のWA！
3. NPO市民活動 質問箱：広域避難所の運営体験について
4. たかしまの元気！企業：岡本木材株式会社
5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）：
 - ・東コミセン 1階展示のお知らせ
 - ・たかしま市民協働交流センター協議会「これから検討会」開催告知
6. 企業広告：有限会社グリーン藤栄、学校法人恵の園今津幼稚園

◆42号 2019年3月1日発行

1. 表紙：「雲洞谷の炭焼き窯復活物語」勉強会開催告知
たかしま・未来・円卓会議 たかしまの森へ行こう！森と人がつながるプロジェクト
2. 市内活動団体紹介<2団体> (いろいろやっています！in 高島)：
 - ・マキノらぼ ・睦美会
3. NPO市民活動 質問箱：NPO 法人の理事の責任について
4. たかしまの元気！企業：パン&ケーキカフェ Famille
5. 掲示板（センターイベント情報、市民活動団体イベント情報、コミセン情報）：
 - ・高島市内イベントのお知らせ（第8回しんあさひ風車村さくら祭り）
 - ・高島市内市民活動メンバー募集（美化活動はなのみち）
 - ・次年度の情報誌発行に伴う市民活動情報の掲載募集
6. 企業広告：ホトラ舎、岡本木材株式会社



(2) 団体登録

団体登録リスト 156 団体ファイル管理数 118冊

市民活動団体の情報誌やチラシなどを保存し、市民が団体の情報を閲覧できるよう

に、カフェコーナーに設置し、主に団体や活動に関する紹介依頼の対応に活用した。

2. WEB 情報発信事業

<目的>

ホームページでは、市内で活動する多様な団体を市民に伝えるために、市民活動団体一覧の充実をめざした。また、市民団体の広報と資金集めの支援を目的に、市内外の市民団体によるイベント情報や助成金情報を広く集め、HP、ブログ、FB、メルマガを連動させてタイムリーな情報提供をめざした。当センターについての理解を広める目的で、基本情報、事業報告と決算、情報誌を公開した。

<成果>

市内の市民活動団体一覧は掲載団体を11団体増やすことができた。新たに設立されたNPO法人や取材した市民活動団体、相談対応した市民団体などに対し、掲載について説明し同意を得た。一覧表を見た市外団体から、掲載団体や活動についての照会があった。団体の紹介依頼があった場合も一覧表で説明しやすくなった。

ブログ掲載内容をフェイスブックでも同時に発信することで、常にリーチ数が50~80件あり、関心層に拡散することができた。

(1) ホームページ

ホームページ：<http://tkkc.takashima-shiga.jp/>

市内の市民活動団体一覧掲載数 91団体

事業報告、情報誌「おむすび・たかしま」、利用案内などを掲載した。

市内の市民活動団体一覧には、高島市内の多様な市民活動などをく子育てサポート <く子どもの体験> <文化・歴史> <福祉・保健> など13ジャンルに分類し、各団体の代表者、連絡先、活動内容を掲載した。

ブログ：<http://tkkc.shiga-saku.net/>

センターからのお知らせ、助成金情報、市内外の市民活動団体の講座やイベント、市民活動に役立つ行政や企業によるイベントなどを掲載した。

センターからのお知らせ	15件
市民活動フェスタ関連	5件
助成金情報	59件
高島市の市民活動情報	93件
滋賀県・全国の市民活動情報	63件
ボランティア募集情報	3件
行政、企業からのお知らせ	114件
たかしまの森へ行こう！関連	7件
その他	9件
計	368件

Facebook : <https://www.facebook.com/takashimashiminkyodo/>

主にブログに掲載した情報の拡散に活用した。

(2) メールマガジン

登録件数 157件 (平成31年3月末現在)

発行回数 24回 (月2回発行、平成30年4月～平成31年3月現在)

内 容 センターのイベントや講座紹介、市民活動団体のイベントや講座、助成金、ボランティア募集、行政等による市民活動団体向け講座やイベント情報など、ブログ掲載記事を集約して発信した。

高島市の市民活動も応援する、まちづくりの拠点です

たかしま市民協働交流センター

トップページ 交流センターとは 交流センター利用案内 交流センターだより ブログ リンク集 アクセス

イベントレポート
メルマガのご案内
助成金情報
イベント情報
ボランティア情報
今津東コミュニティセンター

写真提供：おまのさん(おまのたけのぼり倶楽部) 左の(おまのたけのぼり倶楽部)

たかしま市民協働交流センターのホームページへようこそ。

たかしま市民協働交流センターは、市民が取り組むまちづくりやボランティア活動、市民活動も応援する目的で平成21年5月に発足されました。

「市民活動を始めたい」「まちづくりのためのボランティアを募集したい」「活動のために助成金を保している」「活動を広く知ってもらい会員や寄付を増やしたい」など、市民活動の運営に必要な情報を発信し、相談会や講座なども開催して、市民活動やまちづくりを応援しています。また、その取り組みなどを取材し、季刊誌「たかしま市民協働交流センターだより」やホームページで紹介し、誰もが住みやすい、魅力ある高島のために活動する、市民活動団体同士や市民とのつながりを広げていきます。どうぞ、お気軽にお立ち寄りください。

森へ行こう!

～森と人がつながるプロジェクト～

たかしまの森へ行こう！プロジェクト

高島の森林面積は36,996haで、市の陸地面積の7.2%を占めています。

最近、高島の山林が荒廃し、琵琶湖にそそぐ河川や琵琶湖中に様々な影響が出ています。

本プロジェクトでは、勉強会やポータルサイトの運営を通じて、森林にまつわる基礎情報や観光情報、森林に関する仕事や人といった情報を広く提供することで、主に高島市内で水産の森を活用している人や団体、組織、企業がつながり、市民と森がつながる地域社会を築きます。

3. 相談支援事業

<目的>

市民活動の運営や広報のサポート、市民の市民活動への参加促進などを目的として、市内外の団体や組織、市民からの相談に対応した。相談を継続している団体については、できるだけ団体に運営の力がつくことを目的とした。

<成果>

組織運営相談、団体等の紹介依頼は昨年より増加した。NPO 法人の設立後の理事会運営に関する相談、解散時の残余財産についての相談などがあった。広報の依頼も増加した。団体等の紹介では、移住者から参加できる市民団体やボランティアについての相談があり、紹介した。その後、紹介した団体でスタッフとして活動されるケースがあった。助成金や寄付に関する相談は昨年と同程度であった。講座や会議などの組み立てに関する相談も増加した。相談内容が多様になってきたと感じている。

(1) 相談件数 94件 (101時間)

内容	1. NPO 法人・NPO 設立、組織運営相談	21件 (21時間)
	(法人設立・解散、会計、定款変更、活動内容、会則作成、広報など)	
	2. 団体・人・ボランティア紹介	23件 (13時間)
	3. 助成金・寄付相談	9件 (10.5時間)
	4. 協働提案事業相談	2件 (3時間)
	5. 視察相談 (当センターへの)	0件 (0時間)
	6. 講師、委員依頼	8件 (15時間)
	(講座「会則の作り方」「会計について」、哲学対話ファシリテーションなど)	
	7. 地縁組織支援	1件 (1時間)
	8. コミュニティビジネス相談	4件 (3時間)
	9. その他	26件 (34.5時間)
	(センター事業紹介、講座・会議・ワークショップの組み立てについて、コーディネーションなど)	

継続対応について

①美化活動はなのみち

ミーティングでのファシリテーション、寄付集めのアドバイスなどの支援をした。重労働になっている水やり作業をメンバーで分担して行いたいとの相談があり、水やりの簡素化について相談できる業者を紹介した。業者に見積もりを依頼したところ、17万円で散水栓を複数箇所設置でき、水やりが簡素化される見通しがあった。ミーティングを重ね、寄付集めをサポートした。近隣住民、琵琶湖汽船株式会社などから寄付が集まり、工事を完了することができた。

また、老朽化しているプランターカバーの新調についても相談があり、今津東小学校につないだところ、卒業制作でプランターカバーが制作されることになった。6年生の卒業制作の事前学習をコーディネートし、美化活動はなのみちが活動とその思いを話し、間伐材の活用について高島市森林組合が話し、プランターカバーのキットを制作した岡本木材から製材所の仕事について話しを聞く授業を実施した。学校は地域との協働を求めており、今後も学校との連携が継続されると思われる。

今年度の相談対応をとおして、美化活動はなのみちの支援を呼び込む力、多様な組織との連携する力が高まったと感じられた。

②NPO 法人元気な仲間

前年に引き続き、職員研修について、および認定 NPO 法人の取得について相談を受けた。認定 NPO 法人に向けて検討されたが、手間に見合う寄付収入につながりにくいとのことで、認定取得は見合わされた。

③くつき外出サポート隊

前年に引き続き会議でのファシリテーションを行った。通院の送迎が軌道に乗り、次の展開として、買い物や寄り合い処くつきへの移動支援について検討を行った。ミーティングを重ね、診療所の帰りに買い物や郵便局などへ立ち寄ることができる仕組みができた。支援の範囲を少しずつ広げるサポートができた。

④朽木中学校

朽木中学校で前年度の「朽木のみんなと円卓会議」で実施した「朽木の未来への物語づくり」の経過を説明したところ、3年生の総合的な学習の時間で「朽木の未来を考える」授業をしてほしいとの相談を受け、1月に4時間の授業を行った。前年度の事業でヒアリングを行った「朽木住民福祉協議会」「NPO 法人麻生里山センター」子育てグループ「きりかぶの会」と調整し、授業で生徒と一緒に朽木で未来に残したいものについて対話をしてもらった。卒業を前に、故郷の未来について考える機会を持ち、故郷への思いを下級生に発表された。学校では次年度の授業についても相談したいとのこと。朽木地域の団体と学校の連携をサポートした。

協働提案事業の提案者と担当課の打合せ

①提案者：株式会社あなたの健康社

日 時 10月10日(水) 10:30~12:00

会 場 市役所

参加者 高島市農業政策課、健康推進課、市民協働課

提案事業について、各課の意見交換と事業実施に向けての検討の打ち合わせでファシリテーションを行った。

②提案者：一般社団法人めいどいんマキノ

日 時 10月10日(水) 13:30~15:00

会 場 市役所

参加者 高島市観光振興課、財産管理課、社会教育課、市民協働課

提案事業について、各課の意見交換と事業実施に向けての検討の打ち合わせでファシリテーションを行った。

(2) コピー・大判プリント等対応記録

①コピー・大判プリントの対応 257件 (件)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	21	23	17	13	25	29	20	15	28	19	24

②機材貸出 11件 (プロジェクターの貸出10件、ビデオカメラの貸出 1件)

4. 市民協働交流事業

<目的>

市内各地で活動する市民活動団体やボランティアグループが、分野や地域を越えて、お互いに活動を理解し交流する機会を持つことで、連携や協働につながることを目的とした。市民には、多様な市民活動との出会いの機会とし、理解と参加へつなげることを目的とした。

実行委員会は市民が主体的に企画にかかわり、アイデアを出し合い、実現する機会を提供する目的で実施した。また、当日ボランティアとして、高校生、中学生にも参加を呼びかけ、市民活動団体への出会いと理解を促進することを目的とした。

<成果>

今年度も市内全域から、市民活動団体、ボランティアグループが参加された。6地域の住民福祉協議会も参加された。昨年度から参加の食育ネットワーク登録団体も参加された。フェスタ当日だけでなく、事前に相互の活動を理解し、顔をつなぐ目的で開催している2回の「つながりカフェ」と「打ち合わせ会」においても、それぞれ約20団体が参加し、お互いの理解と交流が深まった。特に今回のテーマである高島の再発見を意識し、お互いの活動のよいところを知り合う機会となった。

来場した市民においては、アンケート結果からさまざまな団体や活動への理解が深まったことが分かった。各団体からのプレゼントをとおしても、出会いと参加へ促すことにつながったと考えている。

当日ボランティアは、毎年参加してきた高島高校 JRC 部が試験と重なり参加できなかったが、比叡山高校から4名が参加し、参加団体と来場者とのつなぎ役をしてくれた。今津中学校からは15名が参加。今津中学校は地域活動との連携を求めており、今後も中学生と市民活動団体との出会いができる本事業で、連携をしていきたい。参加した生徒の感想からは、市民の活動への理解が深まったことが分かった。

(1) たかしま市民活動フェスタ 2018

「今日も元気！いいとこ高島さい発見！」

日 時：11月10日（土）10:00～15:00

会 場：今津東コミュニティセンター

参加団体：45団体 延べ来場者数：約400人

◆フェスタ2018実行委員会・打合せ等（共同実行委員長3名・実行委員9名）

- ① 4/23 第1回フェスタ実行委員会 出席者：10名
【内容】共同実行委員長選任、今後のスケジュール確認
- ② 5/15 第2回フェスタ実行委員会 出席者数：8名
【内容】フェスタのテーマについて、つながりカフェについて
- ③ 5/29 第3回フェスタ実行委員会 出席者数：9名
【内容】つながりカフェについて、参加団体募集について
- ④ 6/25 第4回フェスタ実行委員会 出席数：9名
【内容】6/13つながりカフェふり返し、参加団体打ち合わせ会について
- ⑤ 7/17 第5回フェスタ実行委員会 出席数：8名
【内容】参加団体打ち合わせ会のふり返し、フェスタの企画について
- ⑥ 8/7 第6回フェスタ実行委員会 出席数：7名
【内容】つながりカフェについて、企画およびチラシについて
- ⑦ 8/21 第7回フェスタ実行委員会 出席者数：9名
【内容】つながりカフェについて、企画およびチラシについて

- ⑧ 9/18 第8回フェスタ実行委員会 出席者数：8名
【内容】企画およびチラシについて、フィナーレについて
- ⑨ 10/2 第9回フェスタ実行委員会 出席者数：9名
【内容】企画およびオープニングとフィナーレについて、
当日までのスケジュールおよび当日の役割分担について
- ⑩ 10/9 フェスタチラシ区分け作業 出席者および参加者数：15名
- ⑪ 10/24 第10回フェスタ実行委員会 出席者数：7名
【内容】役割分担の確認、当日の流れを共有
- ⑫ 11/21 第11回フェスタ実行委員会 出席者数：12名
【内容】フェスタの振り返り、フェスタ後参加団体交流会について

◆企画

テーマ：市民活動に取り組む団体をはじめ、市民や来場者が高島のいいところを改めて発見し、高島のいいところを元気にアピールしていきたいとの思いを込めた。地域の魅力づくりや課題に取り組む、市民活動団体や地縁団体の活動紹介や体験、食の提供などを通じ、顔を合わせ、交流するなかで、活動に対する思いやなどを知るきっかけづくりを目指した。

- ①オープニング：よさこい踊り
(参加団体および来場者に集合を呼びかけ、会場全体の盛り上げを図った。)
- ②いいとこ高島さい発見！クイズラリー&ビンゴ
(参加団体に呼びかけ、各団体がクイズとスタンプを作成。誰もが楽しく参加できる内容で、フェスタ当日の交流のツールとして活用した。)
- ③いいとこ高島さい発見！いいとこMAP
(つながりカフェのワークで出合った「高島のいいところ」を大判の高島市MAPに落とし込んで掲示。来場者も「いいところ」を追加するよう呼びかけ。いいところのPRと会場での再発見を促進した。)
- ④当日配布冊子
(フェスタの趣旨や今年度のテーマを記載。団体紹介では問合せ先の掲載を徹底。また、団体番号をつけ、クイズラリー&ビンゴのスタンプ欄の番号と冊子裏面の地図におとした各団体の活動拠点を番号で確認できるようにし、フェスタ後も個人や団体をつなぐツールとして活用できるよう工夫した。)
- ⑤発見くん
(テーマの再発見にちなみ、白衣を着て大きな虫眼鏡を持ったボランティアスタッフが会場をまわりPR。クイズラリー&ビンゴの参加促進もした。)
- ⑥フィナーレ：ビンゴ抽選会と365日の紙飛行機をオカリナのんのんの伴奏で合唱
(ビンゴのプレゼントは、各団体が1点ずつ用意した。来場者の関心を高めるために、団体名とプレゼント内容がわかるように設置。ビンゴが完成したら希望のプレゼントに応募する形式とし、当選者には各団体より手渡された。生演奏と合唱で、参加団体および来場者全員の一体感を盛り上げた。)

◆来場者アンケート集計

回答：205名

- ①市民活動フェスタについて

とても良かった：151、良かった：25、あまり良くなかった：0、無回答：29

②市民活動やボランティアへの関心

とても興味を持った：104、少し興味を持った：62、あまり興味を持てなかった：0、無回答：39

③市民活動やボランティアなど、高島のいいところに対する再発見

たくさん再発見できた：132、少し再発見した：38、あまりわからなかった：0、無回答：35

<自由記述> (一部抜粋)

- ・高島の魅力をたくさん知れた。いいところが沢山あって興味を持てた。
- ・みなさんとても明るくて笑顔があり、ほっとする場でした。
- ・関心が深まりました。
- ・参加したいと思う活動がありました。
- ・地域と楽しく触れ合えるサークル活動もあり、高島はいいところだと思いました。

◆参加団体アンケート集計

回答：19団体

①フェスタ参加について

たいへん良かった：5、良かった：12、あまり良くなかった：2、良くなかった：0

<自由記述> (一部抜粋)

- ・沢山の人(高齢者から子どもまで)や様々な団体の方が参加されており、刺激を受ける。
- ・普段、出会いのない人と出会えた。

②今後のフェスタへの参加について

ぜひ参加したい：5、参加したい：4、時間があれば参加したい：10、参加しない：0

③フェスタ参加による団体にとっての変化

変わった：1、少し変わった：7、あまり変わらなかった：10、無回答：1

<自由記述> (一部抜粋)

- ・初めての参加で、様々な団体が市内で活動されていることを知り、いい出会いでした。
- ・会場全体が明るかった。各持ち場、参加団体を含め熱心に取り組んでいた。
- ・顔馴染みとなり、お互いに笑顔が見られて良かった。

<企画について自由記述> (一部抜粋)

- ・クイズを通して会話ができ、スタンプを貰う人も押す人も楽しめた。
- ・クイズラリーはすべてのコーナーに足を運んでもらえる企画だった。
- ・クイズで来場者に活動内容を知ってもらえる機会になった。
- ・冊子の構成といいところMAPの連動が良かった。
- ・発見くんが大きな虫眼鏡でいいところを探しながら会場を盛り上げていた。
- ・フィナーレでの一体感は、つながりが具体的に感じられた。
- ・オープニングセレモニーを表通り近くで開催したのは良かった。

<意見、感想、アイデアについて自由記述> (一部抜粋)

- ・市民活動団体同士の交流の場となってとても良かった。
- ・今後も継続的なつながりが持てるようになりたい。
- ・沢山の人々の参加を見込むには、市内各行事ともなるべく重ならない日程調整が必要。
- ・〇〇祭りのような一般的なイベントとの違いを参加団体ももっと意識することが大切。
- ・発表について、より効果的であるよう時間帯や場所づくりなど工夫が必要だと感じた。
- ・以前マイクを持って各ブースをまわっておられ宣伝させてもらった。継続できると良い。

◆高島市立今津中学校生徒ボランティア参加者アンケート集計

回答：15名

①ボランティア参加について

とても良かった：12、良かった：3、あまり良くなかった：0、良くなかった：0

<自由記述> (一部抜粋)

- ・知らない人とも気軽に接することができた。
- ・いろいろな人との交流があっていいと思った。

②今後のボランティア参加について

ぜひ参加したい：9、参加したい：5、よくわからない：1、参加しない：0

<自由記述> (一部抜粋)

- ・また参加して、ほかの人たちとも触れ会いたい。
- ・今回のように、今住んでいる地域のいいところを学べるようなボランティアがしたい。

③ボランティアに参加して知った高島のいいところや再発見について

たくさんあった：5、あった：8、あまりなかった：1、無回答：1

<自由記述> (一部抜粋)

- ・優しい人でいっぱいだった。
- ・みんな協力し合っている。絆がある。
- ・それぞれの活動に目的やテーマがあることを深く知れた。
- ・地域のことを知る機会はあまりないので、今回、高島には沢山のあたたかい人がいて、いろんな活動があることを発見した。

④地域への親近感について

とても身近に感じた：6、身近に感じた：4、よくわからない：4、あまり変わらない：0、無回答：1

<印象に残ったこと、フェスタで自分たちがやってみたいことについて自由記述>

(一部抜粋)

- ・自分たちでブースを出してみたい。
- ・楽しい場所だと思った。みんな優しくしてくれてとても楽しかった。また、ボランティアとして参加したい。
- ・赤い羽根など、買ってもらうとその分が募金になるので、私も人のためになるところで買おうと思いました。
- ・高島のいいところをまとめてレポートにしたい。
- ・休憩スペースに高島の情報が書かれてあり、高島のことを知れた。
- ・ボランティアも楽しかったけど、お客さんでも行きたい。

◆当日の様子



(2) 交流会

①たかしま市民活動フェスタ2018 第1回つながりカフェ

日時：6月13日（水）19：30～21：30

参加：21名（18団体） 参加費：200円（コーヒー・お菓子代）

目的：実行委員と参加団体がフェスタへの思いを共有し、参加団体同士のつながりを深めるために共通のテーマで話し合う機会とした。

内容：高島の各地域で活動する市民活動団体やボランティアグループの交流の場として、高島のいいところを出し合うワークショップを実施。

グループで出し合った高島のいいところは「いいとこMAP」にして会場に掲示。



②たかしま市民活動フェスタ2018 参加団体打合せ会

日時：7月10日（火）19：30～21：30

参加：25名（20団体）

目的：参加団体同士で各フロアの企画やレイアウトを考え、主体的な関わりと団体同士の関係性を深める目的で開催した。

内容：各フロアでの話し合いと今年度のフェスタの企画趣旨および内容を説明。参加団体同士の話し合いを通じ、全体で共有した。

③たかしま市民活動フェスタ2018 第2回つながりカフェ

日時：9月4日（火）19：30～21：30

参加：19名（21団体）

目的：今年度のフェスタの企画「クイズラリー&スタンプ」に使用する、クイズとスタンプの作成。作業を通じ、お互いの活動内容を知る目的で開催した。

内容：自分たちの活動にちなんだクイズとスタンプを作成。フェスタ当日、来場者と参加団体が接点を持ち、会話するツールとしての目的と活用について共有した。



④フェスタ後参加団体交流会 もっとつながりカフェ

日時：12月11日（火）19：30～21：30

参加：14名（10団体）

目的：フェスタをふり返り、次年度に向けて意見を出し合う目的で開催した。

内容：スライドショーでのフェスタふり返りと哲学対話のワークを実施。



(3) 学生ボランティア

①延暦寺学園比叡山高校ボランティア委員会 4名

②高島市立今津中学校より参加希望生徒 15名

5. 研修事業

(1) 自分たちだけで解決できないことを協働で取り組むための市民協働講座 「元気なまちはみんなで作る！」

<目的>

市民協働提案事業の申請が減っており、改めて「協働」とは何かを横浜コードからふりかえり、県の協働事例、他市の協働事例からも学ぶ機会とした。また新たな協働の担い手となる、「地域自治組織」（地域自治協議会、まちづくり協議会など）について、他市の設置目的、自治会との役割の違いや多様な組織連携の成り立ちなどを市民が学ぶことを目的とした。

<成果>

参加者は、市民活動団体、自治会役員、一般市民、市議員など多様で関心の高さが伺えた。質問も活発に出ていた。指定管理者と行政の関係について、まちづくり協議会の運営者はどのように決めてきたのかなど、具体的な質問が多く、参加者の理解が深まった。参加者の声にもあるが、本講座のテーマについては市民や自治会役員に向けて学ぶ機会を繰り返し提供する必要性を感じた。

日時：7月30日（月）19：30～21：30

会場：新旭公民館 視聴覚室

講師：仲野優子さん（認定NPO法人しがNPOセンター 専務理事／
草津市協働コーディネーター）

参加費：500円

参加：12名

<内容>

- ・協働を考えるための前提、協働の成果と課題、新たな協働の主体：まちづくり協議会
- #### <アンケート結果>

- ・たいへん良かった9、良かった1、ふつう0、あまり良くなかった0
- ・考え方と具体的事例、それぞれわかりやすく教えてもらった。行政がやるのか、市民がやるのかの二者択一ではなく、協働の部分を増やすことと、地域自治の考え方の2点にたいへん共感します。
- ・今回の内容は自治会長など自治会の主となる住民の方に一般講座として改めて聴いていただきたいと思いました。整理して理解できて良かったです。
- ・今までの自治会を否定するものではないでしょうか？高島では、高島の新しい取り組みが必要では。まちづくり協議会はなんとなくわかります。
- ・まちづくり協議会までに至る経緯や、まちづくり協議会ができてからの変化などについて、更にお聞きしたいと思いました。



(2) 活動の思いを伝えるパンフ・通信づくり講座

<目的>

市民活動において、活動への思い、活動内容などを分かりやすくパンフレットや通信などで伝えることで、共感する仲間を集め、ボランティアなどの参加者を増やすことができる。また助成金の獲得などでは信頼性を高めるツールとなる。団体にとっても活動をふりかえり、思いや目標をまとめる機会や活動の記録にもなるパンフレット、通信の作り方を市民が学ぶことを目的とした。

<成果>

市民団体からの参加者が多かったが、1団体から2、3名で来られた団体が多かった。学んだことを団体のパンフや通信作成に活かされることが期待できる。各団体の作成しているチラシやパンフについての改善点も全体共有しながら進められ、お互いの作成物をとおして学びあうと同時に互いの活動を知る機会にもなった。

日時：9月27日（木）19：30～21：30

会場：新旭公民館 視聴覚室

講師：祖父江立美さん（うーび企画 代表）

参加費：500円

参加：14名

<内容>

- ・情報発信が大切なわけ ・伝えたいことはなにか？、誰に向けて発信する？
- ・活動や団体の思いを言葉で表す ・情報発信は「人をつなぐ」

<アンケート結果>

- たいへん良かった11、良かった2、ふつう0、あまり良くなかった0
- ・参考になることが多々ありました。今後活かしていきます。
 - ・基本から学べておもしろかった。
 - ・チラシ作成の意欲がわいた。
 - ・あらためて自分たちのチラシを見直すよい機会になりました。何を伝えたいか、伝えるときのポイントを大切にしたいです。



(3) 市民活動のための資金の集め方講座

～多様な資金集め&クラウドファンディング～

<目的>

市民活動が活動を継続するために必要な資金の多様性と資金の特性や集め方について基礎知識を学ぶ機会とし、また休眠預金が市民活動への融資や助成へと使われる「民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律」についても情報提供する目的とした。具体的な資金集めの一つであるクラウドファンディングについて、現状や事例紹介、成功のためのポイントなどを市民が学ぶことを目的とした。

<成果>

市民活動団体、農業者、移住者など多様な参加者があり、関心の高さが伺えた。活動の思いや活動内容を言葉で整理し、広く発信することが、資金を集めるための基本として大切であると伝えられた。クラウドファンディングについては具体的な質問が多く、チャレンジを検討されている参加者が多いようだった。

日時：2019年2月28日（木）19：00～21：00

会場：新旭公民館 視聴覚室

参加費：500円

参加：12名

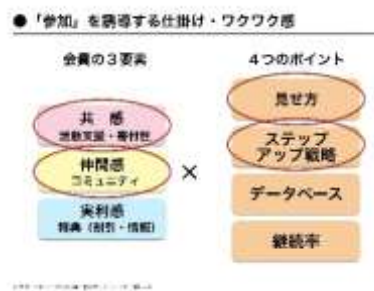
<内容>

- ・ファンドレイジングとは ・市民活動の資金の多様性と特性
- ・特性に合わせた資金の集め方 ・休眠預金活用法に関連した動き
- ・クラウドファンディングについて、事例とチャレンジするためのアドバイス

<アンケート結果>

たいへん良かった6、良かった3、ふつう0、あまり良くなかった0

- ・ファンドレイジングの基本的なところを押さえられて勉強になりました。
- ・資金調達の仕方を大変、身近に感じられて良かった。
- ・情報の発信に役立つこと、クラウドファンディングが確認できた。(二次的効果) 何の為なのかを明確にしておくことの重要性が再確認できた。
- ・クラウドファンディングについて身近に感じることができた。有意義な内容だった。



6. まちづくり推進事業

(1) 第2期高島市まちづくり推進会議 2年目

<目的>

第2期まちづくり推進会議の2年目は、1年目に描いた高島市の将来像に向けて、委員一人ひとりが、関心のある地域課題についてグループを形成し、活動を行った。地域課題と将来像との関連を意識しながら、課題に関する現状を把握し、そこから市民や行政への提案をまとめることを目標とした。

グループ活動では、課題について何を明らかにしたいのかを整理し、市民による行政や団体へのヒアリングやアンケート調査を実施し、その結果から市民や行政への提案をまとめる。また、これらの内容を報告書にまとめ、報告会で発表する。一連の経験をとおして、市民活動に必要な経験を持つ機会を提供することを目的とした。

<成果>

関心のある課題で5つのグループができ、活動が行われた。全てのグループで、何を明らかにしたいのかという活動テーマを設定し、ヒアリング調査あるいはアンケート調査が行われ、調査結果から考察し、行政や市民への提案をまとめることができた。

活動テーマについて十分に話し合い、整理して調査に入ったグループは、グループミーティングが活発に行われ、調査票の作成、結果の分析、考察内容が充実していた。一方、活動テーマに関する整理が不十分なまま調査に入ったグループでは、ヒアリング調査などを十分に行うことができなかつたと感じられた。

次期の推進会議では、何度か疑問として挙がっていた、行政は活動の成果や結果をどう活かすのかについて明確にした上でスタートしたい。また、参加委員については、委員同士の交流を深める工夫と課題について十分に話し合う時間を持つことによって、グループ活動を充実したものにできればと思う。

第2期の委員は、第1期の反省も有り30～40代の仕事も家庭も忙しい世代に多く参加いただいた。出席率が低い原因にもなったが、今後の高島市のまちづくりでは多様な世代の参加が欠かせない。次期では多様な世代が参加しやすい運営形態を模索したい。

①事務局の構成

たかしま市民協働交流センター、高島市市民協働課

研修者チーム

木村道徳、金 再奎、河瀬玲菜（滋賀県琵琶湖環境科学研究センター）

熊澤輝一、王 智弘（総合地球環境学研究所）

上須道徳（大阪大学 CO デザインセンター）

小野 聡（立命館大学政策科学部）

松井孝典（大阪大学大学院工学研究科）

馬場健司（東京都市大学環境学部）

岩見麻子（法政大学地域研究センター）

堀 啓子（国連大学）

(2) 全体会議

第5回 6月3日(日) 18:00~20:30 安曇川公民館

- 一年目の概要報告
- 市民団体ヒアリング結果、高島市将来像について
- グループワーク(グループ分け)

第6回 7月19日(木) 19:00~21:20 新旭公民館

- 各グループの「活動計画書」発表

高島の文化グループ

テーマ「地域で継承されている祭りについて調べ、文化としての祭りの継承と地域の人々の意識について調査する」

多様な働き方グループ

テーマ「高島市で働く若い世代に何が必要で、何を求めているのかを調べる」

活かす自然・守る自然グループ(テーマを選択する途中だったため3テーマ出された)

テーマ「市内の有機農業や体験農業をしている農地を調べ、マップづくりをする」

「有機農産物と消費者をつなぐ仕組みを調べる」

「家庭菜園をする地元の方との移住者との出会いをつなぐ」

地域で支えあうコミュニティづくりグループ

テーマ「地域が支える子どもが地域を支える高島市～あなたにもできる地域と子どものつながりを考えよう～」

地域で学び育つグループ

テーマ「子どもの多様な体験の場を調べる。子ども食堂と冒険遊び場を対象に調査」

第7回 11月17日(土) 13:30~15:30 安曇川公民館

- 各グループの中間報告
- 哲学対話「グループのよかった点について褒め合おう」

第8回 3月23日(土) 13:30~16:30 新旭公民館

交流会 16:30~17:30

- 各グループの活動成果報告
- 哲学対話「まちづくりとはなにか？」

(3) グループミーティング※当センターが参加したミーティング

地域で支えあうコミュニティづくりグループ

6月10日(日) 18:00~20:00 安曇川公民館

6月18日(月) 19:00~21:00 安曇川公民館

8月 9日(木) 19:00~21:00 安曇川公民館

8月21日(火) 19:00~21:00 新旭公民館

9月14日(金) 19:30~21:30 新旭公民館

10月 3日(水) 19:00~21:00 新旭公民館
11月 9日(金) 19:30~21:30 新旭公民館
12月10日(月) 19:00~21:00 市役所
12月20日(木) 19:00~21:30 市役所
1月15日(月) 19:30~21:30 市役所
1月22日(火) 19:00~21:00 市役所
1月29日(火) 20:30~21:30 市役所
2月 5日(火) 18:30~21:00 市役所

多様な働き方グループ

6月12日(火) 18:00~19:30 市役所
10月30日(火) 18:00~20:00 市役所
11月 5日(月) 18:00~20:00 市役所
11月15日(木) 18:00~20:00 市役所
11月29日(木) 18:00~20:00 市役所
12月18日(火) 18:00~20:00 市役所
1月17日(木) 18:00~20:00 市役所
1月31日(木) 20:00~21:30 市役所

高島の文化グループ

6月14日(木) 18:00~19:00 今津東コミュニティセンター
7月12日(木) 18:00~20:00 安曇川公民館
7月31日(火) 18:00~20:00 今津東コミュニティセンター
8月29日(水) 18:00~20:00 安曇川公民館
10月31日(水) 19:30~21:00 安曇川公民館
12月26日(水) 18:00~20:00 市役所
1月15日(月) 18:00~20:00 市役所
1月23日(水) 10:00~12:00 大荒比古神社
1月24日(木) 18:00~20:00 市役所
1月31日(木) 18:00~20:00 市役所

活かす自然守る自然グループ

7月18日(水) 9:00~10:00 くつきの森
10月 1日(月) 19:30~21:30 安曇川公民館
12月27日(木) 15:00~17:00 市役所

地域で学び育つグループ

8月22日(水) 20:00~22:00 今津東コミュニティセンター
9月11日(火) 19:30~21:30 今津東コミュニティセンター
10月23日(火) 19:30~21:30 今津東コミュニティセンター
11月13日(火) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター
12月13日(木) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター
1月16日(水) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター

1月30日(水) 19:00~21:00 今津東コミュニティセンター

2月 6日(水) 20:00~22:00 今津東コミュニティセンター

事務局会議・運営会議

<事務局会議>

- ①4月17日(火) 13:30~16:30 琵琶湖環境科学研究センター
・第2期のゴール設定とアウトプットについて、第5回全体会議の内容について
- ②4月26日(木) 10:00~12:30 市役所
・全体のスケジュール、報告書の内容について
- ③7月11日(水) 9:30~12:00 琵琶湖環境科学研究センター
・第6回全体会議の構成について、活動計画の発表について
- ④8月2日(木) 13:00~15:30 琵琶湖環境科学研究センター
・グループ活動への研究者の参加について、報告書について
- ⑤11月15日(木) 16:30~18:00 市役所
・第7回全体会議のスケジュール、役割確認
- ⑥12月3日(月) 14:00~17:30 琵琶湖環境科学研究センター
・第7回全体会議のふりかえり、報告会と報告書について
- ⑦2月7日(木) 13:30~15:30 琵琶湖環境科学研究センター
・報告書の全体構成について、報告会について
- ⑧3月3日(日) 14:45~21:00 総合地球環境学研究所
・報告書の校正作業、第8回全体会議の構成について
- ⑨3月14日(木) 16:00~18:30 琵琶湖環境科学研究センター
・第8回全体会議のスケジュールと役割について、次年度の推進会議について

<運営委員会>

- 第7回 4月19日(木) 13:00~16:00 安曇川公民館
・2年目スケジュールについて、第5回全体会議の内容について、グループについて
- 第9回 9月7日(金) 19:30~21:30 安曇川公民館
・第5回全体会議の感想、全体会議の回数について、報告書について
- 第10回 10月1日(月) 13:30~15:45 安曇川公民館
・第7回全体会議の内容について、報告書の内容について
- 第11回 10月29日(月) 13:30~15:30 安曇川公民館
・報告書の内容について
- 第12回 11月26日(月) 14:30~17:00 市役所
・第7回全体会議のふりかえり、報告書の内容について

(4) 情報発信

まちづくり推進会議フェイスブックページの活用

フェイスブックページで全体会議の資料、記録、ワーク結果を掲載し、欠席者や関心を持つ市民との共有を図った。

7. その他

(1) 研修参加記録

<目的>

休眠預金の活用に関する情報と NPO の評価について情報を得る目的で、社会的インパクト評価研究会や市民活動支援センター意見交換会に積極的に参加した。また地域課題や魅力に関する住民意識を把握するために、地域自治組織に関する会議や市社会福祉協議会が行うセーフティネット連絡会に参加した。

<成果>

休眠預金の動向について知ることができ、寄付に関する講座でも紹介することができた。事業評価については、次年度事業の一部でもロジックモデルを作成して進めたいと考えている。NPO の評価に関する考え方は市内にも情報提供していきたい。

地域自治組織支援につながる、これからの地域を考える会、セーフティネット連絡会などへの参加で、住民意識やニーズを知る機会になった。次年度の地縁組織支援への情報を得ることができた。

①社会的インパクト評価研究会（主催：淡海ネットワークセンター）

- 第1回 6月 8日（金）NPO の評価をめぐる現状について
- 第2回 9月 7日（金）休眠預金に関する概要
- 第3回 11月16日（金）社会的インパクト評価ロジックモデルの事例紹介
- 第4回 12月14日（金）評価におけるロジックモデルの作成、指標の設定他
- 第5回 2019年2月21日（金）ファンドレイジングへの評価の活用他
- 第6回 2019年3月14日（金）研究会の評価と今後の動き、意見交換

②市民活動支援センター意見交換会

- ・第1回 7月 3日（火）県民交流センターピアザ淡海
内容：滋賀県の市民活動の歴史について
- ・第2回 10月25日（木）東近江市役所
内容：相談の分類と共有について
- ・第3回 2019年2月19日（火）近江八幡市「ほりかふえ」
内容：相談の分類について、休眠預金の指定活用団体について

③災害支援市民ネットワークしが 総会

- 4月25日（水）コラボしが21（滋賀県労働福祉セミナー室）
内容：外国人の災害時の支援を考える

④滋賀県協働プラットフォーム

- テーマ：協働をより効果的なものとするために～コレクティブ・インパクト」の導入～
2019年3月20日（水）滋賀県庁

⑤これからのマキノを考える会（主催：高島市市民協働課）

- 8月24日（金）マキノ支所
内容：雲南市、草津市における地域自治組織の取り組みについて
- 11月11日（金）マキノ支所
内容：東地区、北地区の実践計画について

- ⑥これからの今津西地区を考えるアンケートワークショップ
10月21日(日)今津西コミュニティセンター アンケートの作成について
2019年2月11日(月)今津西コミュニティセンター アンケート調査結果報告会
- ⑦セーフティネット連絡会(主催:高島市社会福祉協議会)
第1回セーフティネット連絡会(朽木)
9月10日(月)朽木支所
第1回セーフティネット連絡会(今津)
11月20日(火)あいあいタウン
- ⑧長浜市地域活力プランナー活動報告会
2019年2月22日(金)長浜市役所

(2) 外部委員会等参加記録

- ①つながり応援センターよろず運営委員会・子どもの貧困対策部会
第1回運営委員会 8月31日(金)高島支所
第2回運営委員会 10月19日(金)高島支所
子どもの貧困対策情報交換会 11月28日(水)安曇川公民館
第3回運営委員会 2019年1月25日(金)新旭公民館
- ②高島市福祉のまちづくり推進委員会
第17回 8月31日(金)高島支所
第18回 2019年1月25日(金)新旭公民館
- ③高島縁人発掘プロジェクト
11月21日(水)高島市観光物産プラザ
2019年2月5日(月)高島市観光物産プラザ
- ④高島市食育ネットワーク登録団体交流会
10月12日(金)高島市観光物産プラザ
- ⑤高島市地域自治組織あり方検討委員会(第1回会議)
2019年3月25日(月)高島市役所

8. 生活支援コーディネーター（第1層／市域）

高島市内の生活支援や介護予防サービスを、市民の人材や市民活動団体が持続的に担う体制を整える目的で、市民によるさまざまなサービスを提供している事業者、市民団体やグループを把握し、地域資源マップおよび地域資源リストにまとめた。

また、生活支援に関わる市民グループと事業者の交流会を企画し、相互の情報交換と連携の機会を提供した。

（1）高島市生活支援コーディネーター定例会・高島市生活支援体制整備協議体会議

生活支援コーディネーター2名と地域包括支援課で毎月定例会を持ち、高島市の生活支援体制整備協議体の運営と研修や視察内容について検討した。

第1回定例会 4月13日（金）9:30～11:30 市役所

平成30年度の計画について、役割分担について

第2回定例会 4月27日（金）9:30～11:30 市役所

平成30年度の活動について

第3回定例会 5月15日（火）9:30～11:30 市役所

平成30年度の協議体会議委員について

第4回定例会 5月29日（火）9:30～11:30 市役所

平成30年度の協議体会議委員について、協議体会議の年間予定

第5回定例会 6月14日（木）9:30～11:30 市役所

協議体会議委員について

第6回定例会 7月13日（金）9:30～11:30 市役所

協議体会議委員について

第7回定例会 7月24日（火）9:30～11:30 市役所

協議体会議の進め方について

協議体会議打合せ 7月27日（金）11:00～12:00 市役所

グループワークのグループ分けについて

第1回生活支援体制整備協議体会議 7月30日（月）14:00～16:00 新旭公民館

生活支援コーディネーターと協議体会議の役割について

グループワーク「自分たちの地域で取り組めそうなことは？」

第8回定例会 8月13日（月）10:00～11:30 市役所

民間企業との連携について

第9回定例会 8月29日（水）10:00～11:30 市役所

民間企業との連携について

第10回定例会 9月18日（火）13:30～15:00 市役所

民間企業との連携について進捗状況

第11回定例会 9月25日（火）10:00～11:30 市役所

民間企業との連携について進捗状況、協議体会議の進め方

第2回生活支援体制整備協議体会議 10月1日（月）14:00～16:00 新旭公民館

- これからの生活支援サービスについて、地区や民間の移動サービスについて
- 第12回定例会 10月15日(月) 13:30~15:00 市役所
協議体会議のふりかえり、視察の進め方
- 第13回定例会 10月30日(火) 13:30~15:00 市役所
視察の進め方、ボランティア講座について
- 第14回定例会 11月7日(水) 14:00~16:00 市役所
大野木長寿村まちづくり会社への視察に向けて
視察 大野木長寿村まちづくり会社 米原市大野木
大野木とは、区自治会との関係、会社組織について、リーダーについて他
- 第15回定例会 11月19日(月) 市役所
視察ふりかえり、資源マップについて
- 協議体会議打合せ 11月26日(月) 市役所
第3回協議体会議の進め方
- 第3回生活支援体制整備協議体会議 11月28日(水) 14:00~16:00 市役所
視察ふりかえり、移動支援について
- 第17回定例会 12月10日(月) 市役所
協議体会議の結果
- 第18回定例会 1月15日(火) 13:30~15:00 市役所
地域資源冊子について
- 第19回定例会 1月28日(月) 13:30~15:00 市役所
交流会について、地域資源冊子について
- 第20回定例会 2月13日(水) 13:30~15:00 市役所
地域資源冊子について
- 第21回定例会 2月26日(火) 10:00~12:00 市役所
地域資源冊子について
- 第22回定例会 3月4日(月) 9:30~12:00 市役所
地域資源冊子について
- 第4回生活支援体制整備協議体会議 3月11日(月) 安曇川公民館
地域資源冊子について、民間企業との連携した活動について
- 第23回定例会 3月19日(火) 9:30~12:00 市役所
地域資源冊子について、第4回協議体会議ふりかえり

(2) 研修参加

- 第1回地域共生社会推進全国サミット in ながくて
10月19日(金) 10:00~16:00 愛知県立大学
- 第1回生活支援コーディネーター学習・情報交換会
11月5日(月) 13:00~16:30 コラボしが21

支え合いづくりたい講座～地域支え合い実践者研修～

12月20日(木) 9:30～12:00 新旭コミュニティセンターほおじろ荘
第2回生活支援コーディネーター学習・情報交換会

2月12日(火) 14:00～17:00 県立長寿社会福祉センター

(3) マキノ・今津地域における事業者の生活支援に関する交流会

高齢者の買い物、通院等にかかる移動について、市内各地で課題になっているなか、市民や事業者による移動支援、配達サービスが行われている。マキノ、今津地域を対象に企業、事業者市内の現状説明と相互の情報交換の機会を持ち、事業をとおして、あるいは地域貢献として高齢者の安心と持続可能な暮らしについて、できることを考えていただく機会を持った。

日時 2月26日(火) 13:30～15:30

会場 今津東コミュニティセンター ホール

参加者 15名

事業者：A コープ今津店、今津サンブリッジホテル、平和堂今津店、セブンイレブン（マキノ、今津）、ドラッグユタカ今津店、藤美寮、高島市社会福祉協議会

市民団体：NPO 法人元気な仲間、今津ふくしの会、高島住民福祉ネットワーク、マキノぬくもり福祉ネットワーク



参加者の感想

- ・ここに参加された、多様な方々と今後もつながりたい。市民の声や課題を事業者の方に聞いていただき、一緒に暮らしの安心を考える機会をこれからも持ちたいと思った。
- ・地域住民の集まりの場への移動支援、一人ひとりの買い物や通院の移動支援、どちらも必要とされている。今、行われているそれぞれの取り組みについて知ること、補完しあうことができるので、情報交換が大切だと感じた。
- ・コンビにだからできること、細かなニーズにお応えすることができるが、できないこともある。スーパーマーケットだからできることもある。お互いに補い合いながら、暮らしを支えることができればと思う。 など

9. 「たかしまの森へ行こう！」～森と人がつながるプロジェクト～

平成27年度から、高島市の森林資源の持続的な活用と多面的機能について、森林所有者、林業関係者、市民活動団体、消費者、行政など様々な利害関係者が互いに学び合いながらゆるやかなネットワークの形成を目指して活動を始めた。

平成30年度は、前年に引き続き「より多くの市民に山や森に関心を持っていただくこと」を目的に、高島の森林に関わる方のつながりを図り、広く公に開かれた勉強会を関係者と連携して実施した。また、市民ライターを募集し、活動の参加を通して等身大の視点で書かれた記事を発信することで、新たな関わり人材の創出をめざした。

<運営協力組織>

滋賀県琵琶湖環境科学研究所/総合地球環境学研究所/結いの里・椋川/高島市森林組合/くつき木の駅プロジェクト/滋賀県西部・南部森林整備事務所/NPO法人麻生里山センター/自然セラピー案内人の会/マキノ高原観光株式会社/巨木と水源の郷をまもる会/高島市森林水産課/高島市市民協働課

<運営会議・打合せ等>

- ①5月1日(火) 第1回 運営会議 出席者数10名
内容：前年度第3回勉強会ふり返し、ユリノキまつり出展および今年度の勉強会について
- ②6月15日(金) 第2回 運営会議 出席者数10名
内容：ユリノキまつりふり返し、第1回勉強会について
- ③7月25日(水) 第3回 運営会議 出席者数8名
内容：第1回勉強会(星空里山キャンプ)当日の打ち合わせ、第2回勉強会について
- ④9月19日(木) 第4回 運営会議 出席者数6名
内容：第1回勉強会ふり返し、くつきの森台風被害ボランティアの企画について
- ⑤12月19日(水) 第5回 運営会議 出席者数9名
内容：くつきの森台風被害ボランティア企画ふり返し、第2回勉強会および市民ライターについて
- ⑥2019年2月5日(火) 第6回 運営会議 出席者数8名
内容：第2回勉強会(炭焼き勉強会)当日の打ち合わせ、市民ライターについて
次年度事業計画および助成金申請について

<勉強会>

市民の森林への関心を高めるために、森林の多面的活用を体験し学ぶ機会を提供した。

- ①第1回勉強会 星空いっぱいのでら山でみんなでキャンプしよう！
日 時 8月11日(土) 15:00 ~ 8月12日(日) 11:00
場 所 高島市今津町椋川 やまのこ学園キャンプ場
参 加 17名
講 師 ネイチャーガイド 青木 繁さん、是永 宙さん(椋川在住)
内 容 1日目は、やまのこ学園キャンプ場にてテント泊、夜の里山体験。飯盒炊飯での夕食後、ナイトハイクで星空観察、集まる昆虫観察。2日目は、森に関するクイズを通じて楽しみながら森への関心を高め、昔の佇まいが残る椋川交流館にて、森林と高島の森の現状や里山の暮らしの様子を聞いた。



②第2回勉強会 雲洞谷のお父さんに聞く炭焼き勉強会

日 時 3月9日(土) 10:00~13:30

場 所 朽木雲洞谷集会場および雲洞谷の炭焼き窯

参 加 40名

講 師 ㊦くらぶ(まるくもくらぶ)の皆さま

内 容 雲洞谷で炭焼きに取り組まれる団体を訪ね、炭窯づくりから炭ができるまでの経緯や思い、炭焼きをしていた頃の暮らしと森林との関わりについて学び、実際の炭窯を見学。現地交流会形式で、地元の方の知恵を学び、市内の別の地域で炭焼きをされている方をはじめ、炭焼きや森林活用に関心のある方同士の親睦を図った。



<ユリノキまつり出展>

日 時 5月19日(日) 10:00~15:00

場 所 森林公園くつきの森 ユリノキ広場

来場者 延べ300名

出展者 森へ行こう!ブース:10団体(全体37団)

内 容 森に感謝するユリノキまつりで、たかしまの森へ行こう!ブースを出展。森林に関わる団体や個人、企業による体験や販売を行い、来場者に森林への関心を高めるきっかけづくりを提供した。

森へ行こう!ブース出展団体

- くつき木の駅プロジェクト(間伐材活用)
- 滋賀県西部・南部森林整備事務所(森林認証の紹介と説明)

- ・高島市市民協働課 移住定住推進室（移住・定住相談）
- ・岡本木材株式会社（木のある暮らしのライフスタイルの提案）
- ・クミノ工房（地域材を使った木製玩具の遊び体験）
- ・中村水産（鮎塩焼き、湖と森林のつながり紹介）
- ・ハナゲート（アウトドア向けシューズの紹介と販売）
- ・ミツバチまもり隊（オーガニック野菜などの販売）
- ・コティカフェ（フードの提供、木工作品の販売）
- ・たかしま市民協働交流センター（森へ行こう！プロジェクト紹介、朽木円卓会議展示）



<たかしまの森へ行こう！プロジェクト&森林公園くつきの森企画>

台風21号の被害により、森林公園くつきの森では風倒木などの処理に追われていることを受け、森の現状と整備について、学びと作業を併せたボランティア活動を企画した。

「台風被害のくつきの森でボランティアしよう！」

日 時 11月23日（祝）10：00～15：00

場 所 森林公園くつきの森

参 加 9名

指 導 森林公園くつきの森 海老澤 秀夫さん

内 容 森林公園くつきの森のなかで、特に被害の大きかった場所や現状を知っていただきたい場所を中心に、海老澤さんのお話と指導のもと、折れて垂れ下がる木の枝の処理や散策道をふさぐ枝を集める等、なかなか手の届かない部分の作業を行った。



Ⅲ 今津東コミュニティセンター

1. 平成30年度 今津東コミュニティセンター施設利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	H30年 1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
和室大	団体数	19	22	25	20	18	17	26	24	31	32	32	25	291	262	29
	人数	246	211	246	226	155	182	292	258	352	363	375	354	3260	3325	-65
和室小	団体数	20	16	15	19	9	18	19	23	23	23	29	26	240	204	36
	人数	112	85	91	145	43	95	100	155	109	99	143	144	1321	1378	-57
会議室(1)	団体数	30	34	28	23	20	28	27	28	24	24	27	26	319	361	-42
	人数	215	262	231	224	127	369	198	170	162	154	199	195	2506	2768	-262
会議室(2)	団体数	31	32	30	19	18	26	27	31	18	21	28	20	301	205	96
	人数	133	124	144	131	115	270	156	194	84	130	211	110	1802	1933	-131
会議室(3)	団体数	26	31	26	28	31	38	41	40	28	39	37	26	391	314	77
	人数	195	206	199	192	214	354	278	300	123	244	367	151	2823	3020	-197
調理実習室	団体数	9	10	8	6	7	10	11	8	13	13	11	5	111	113	-2
	人数	107	124	92	64	67	107	113	110	164	149	128	58	1283	1218	65
大ホール	団体数	24	31	36	32	28	31	30	33	27	28	37	40	377	363	14
	人数	463	922	1181	836	585	603	710	956	720	606	959	1652	10193	10212	-19
1F展示・ロビー	人数	531	516	420	470	347	444	412	1109	474	304	406	1846	7279	7579	-300
合計	団体数	159	176	168	147	131	168	181	187	164	180	201	168	2030	1822	208
	人数	2002	2450	2604	2288	1653	2424	2259	3252	2188	2049	2788	4510	30467	31433	-966
前年度	団体数	153	146	158	163	131	171	150	150	136	136	158	170	1822		
	人数	2152	2279	3139	2637	1846	3180	2350	3075	2149	2078	2871	3677	31433		
前年比	団体数	6	30	10	-16	0	-3	31	37	28	44	43	-2	208		
	人数	-150	171	-535	-349	-193	-756	-91	177	39	-29	-83	833	-966		

※利用拒否件数0件

2. ロビー展示他

(1) ロビー展示利用促進

年2回、展示希望団体の募集を行い、展示ホールをさまざまな団体の展示で活用し、展示団体と来場者の交流を促進した。

①水彩画サークル彩友	4月7日～20日
②高島模型クラブ	4月28日～5月5日
③今津墨絵クラブ	5月11日～21日0
④公益財団法人滋賀県緑化推進会	5月28日～6月14日
⑤湖西水墨画会	6月18日～23日
⑥水彩画サークル彩琶	7月1日～14日
⑦今津押し花クラブ	7月22日～31日
⑧原水爆 今津支部	8月9日～15日
⑨デジタルカメラ勉強会	8月20日～31日
⑩放課後等デイサービス	9月20日～30日
⑪水彩画サークル彩友	10月20日～31日
⑫レイカディア大学同窓会高島支部	11月12日～17日
⑬MOA 美術館高島児童作品展示会実行委員会	11月18日～25日
⑭高島市安曇川デイサービスセンターアンフィニ	11月27日～12月3日
⑮精神保健ボランティアグループ〇	12月6日～13日
⑯高島高校 茶華道部	12月15日～18日
⑰高島高校芸術書道科	2019年1月17日～22日
⑱デジタルカメラ勉強会	2月1日～10日
⑲高島高校書道 芸術書道科	2月13日～19日
⑳あけぼの墨絵クラブ	2月20日～27日
㉑今津押し花サークル	2月28日～3月7日
㉒湖西蘭友会	3月9日～10日
㉓湖西フォトクラブ	3月11日～22日
㉔高島模型クラブ	3月23日～31日

(2) 情報発信について

①HP および SNS による情報発信

インターネット上での情報発信として、東コミセンの HP で開催情報と報告を掲載した。同時に、ツイッター、インスタグラム、フェイスブックページで HP の記事をシェアした。

②東コミセンだより（月1回発行）

東コミセンおよび協働交流センターからのお知らせや自主事業の広報、館内の催し物、ロビー展示会情報等を壁新聞形式で各部屋に掲示している。また市内公共施設にも送付した。

3. 今津東コミュニティセンター自主事業報告

事業名	日程	参加者	内容
認知症サポーター養成講座	4/27	13	認知症の特性や種類、認知症の人への接し方など基本的なことについて学ぶ機会を提供。
茶道教室	5/25 6/22 7/27 8/24 9/28 10/26 11/30 1/25 2/22 3/22	6 11 8 9 8 9 9 7 8 8	茶道の初歩的なことを学び、今後の趣味や日常をより豊かにするきっかけづくりとして企画し、最初の体験会を含めて10回の教室を開催した。
広域避難所運営体験	6/15	36	災害時に避難所を運営する体験として、中浜区、北浜区の方々と一緒に意識共有・課題共有した。
はじめてのスマートフォン講座	7/3	12	60歳以上を対象に、練習機を使ってスマートフォンの基本的な操作方法やグーグルマップ、ラインなどの使い方について学ぶ機会を提供。
郷土料理教室	7/28 1/19 2/16	9 16 18	鮎寿司 大根と鰯の麴漬け、マス飯としじみ汁 エビ豆とイサザのじゅんじゅん

世界の台所	9/21 1/15	12 15	ベトナム料理（ネンザン、ミンザイ） フランス料理（ブッシュドノエル）
東コミセン 子どもサークル	7/21 12/15 12/25 12/28	20 7 13 14	流しそうめん、竹細工 ベトナム料理教室（チェ） 書道教室 ミニ門松づくり
東コミセンだより	毎月	-	月一回発行、東コミセンからのお知らせを壁新聞形式で各部屋に掲示している。
みんなのほんだな	随時	-	東コミセン1階ロビーの利用促進を目的に、みんなでシェアする本の物々交換所「みんなのほんだな 東コミセン」を設置している。

写真

ロビー展示



茶道教室



子どもサークル

